

第2回総合計画策定市民会議 分野別専門委員会まとめ

分野	市民生活分野
基本目標	<p><u>人と自然が共生するまち</u> <u>～時代に合った「住みやすさ」を市民と共に創出し続ける～</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の1ピースになる ・住みやすさ→住みやすい、市民と共に→市民主体 ・住みやすい地域 ・人と自然にやさしいまち ・みんなが幸せを共愛できるまち ・みんなで幸せのまち ・誇りと自信にあふれる市民
施策	<p><u>1 東御市版循環型社会の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別が全国・県としても、東御市の市民意識が高い、その事実を市民全体が誇りとする ・楽しく3R ・ゴミの行方を市民に知らせる ・再エネ化が進めばいいな <hr/> <p><u>2 協働のまちづくりの推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源を活用 ・共に活動できる仲間が増えればいいな ・自然とは？手を加えることも大事（保全） <hr/> <p><u>3 困難を抱える人の把握と支え合いや支援の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰も孤立しない ・生活困窮対策 ・身寄りのない人への支援 ・福祉、医療、介護、把握、充実 ・支え合いの組織づくりが必要 （コーディネーターと人の育成を実行できる仕組みづくり） ・支え合いで地域に求めすぎないで、施策としてしっかりと確立させる （グループホームやデイサービスが安価に使える） ・要支援者へのサービス、畑仕事で小遣い稼ぎ <hr/> <p><u>4 多様性を認め合える環境づくり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーギャップの解消にはかなりの時間がかかる、131年かかる、これを考えたらよい ・ジェンダー平等と男女共同参画の意識の底に共通に流れる事象を自覚し、共生社会を目指す

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・差別のない人権尊重のまちづくり・日本全体でも女性議員の人数が世界的に最下位であることから女性議員の増加・多様な属性を理解し認め合い尊重できる社会・様々な属性の人がそれぞれの能力を発揮して活躍できる地域・職場でも家庭でも一人ひとりが尊重される |
|--|---|

第2回総合計画策定市民会議 分野別専門委員会まとめ

分野	子育て・健康福祉・医療
基本目標	<p><u>支え合い、健やかに暮らせるまち</u> <u>～誰もが元気に自分らしく暮らし続けられるようにする～</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して住み育てられる支援体制の確立 ・「誰しものが元気に暮らせるまち」 ・高齢者や障がい者の支援の仕組みづくり ・誰もが活躍できる ・それぞれのスキルを活かせるような集い ・分野を2つに分ける「子育て」と「高齢者」
施策	<p><u>1 安心して子どもを産み育てられる環境づくり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化に歯止め ・誰でもいつでも保育園に入れる ・働きやすい事務所があればIターンおよびUターンできる →子育てし若夫婦住みやすい ・子育てに負担がない ・義務教育なので給食費を無料にする ・給食に地元の野菜や安全な材料・調味料を使う ・公立学校完全無償化 <p><u>2 子どもから高齢者までが健康で安心して暮らせる環境づくり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の公民館の有効利用 (地区の子育て広場、シルバーサロン会など) ・子育て世代とお年寄りが助け合えるまち ・近くにかかりつけ医がいる ・小児科医が市内にいる ・高望みをしない、ちょっと上の安心な環境を目指す <p><u>3 困難を抱える人の把握と支え合いや支援の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰も孤立しない ・生活困窮対策 ・身寄りのない人への支援 ・福祉、医療、介護、把握、充実 ・支え合いの組織づくりが必要 (コーディネーターとひとの育成を実行できる仕組みづくり) ・支え合いで地域に求めすぎないで、施策としてしっかりと確立させる (グループホームやデイサービスが安価に使える) ・要支援者へのサービスは畑仕事で小遣い稼ぎ

4 高齢になっても元気で生きがいを持って暮らせる環境づくり

- 在宅医療をもっと充実してほしい
- 高齢、障がい、不自由になっても家で暮らせるようにしたい
- デマンドバスを置くならボランティアの方が運転してほしい
有料でも（近所の方）
- 高齢者の生きがい、地域の中の役割、農業（週2回）
- 高齢者の居場所（施設で漬物）
- 高齢者の支え合い体制づくり（買い物、受診他）
- 動けるうちは働ける、必要とされる

第2回総合計画策定市民会議 分野別専門委員会まとめ

分野	教育・文化・スポーツ
基本目標	<p><u>誰もが自分らしく耀けるまち</u> <u>～これからの社会や地域を担う多様な人材を輩出し続ける～</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化とスポーツが身近にあるまち～学び、楽しみ、触れ合いながら～ ・誰もが自分らしく耀けるまち、これからの社会や地域を担い自己主張し、仲間と一緒に頑張ることができるまち ・豊かな心を育み支え・支えられる（学び・学び合える）まち ・一人ひとりの良さを認め合い、学び合うまち ・大人も子どもも夢が描けるまち ・他人事を自分事と考えられる人が住みよい地域をつくる人材になれる ・一人ひとりの出番を活かせる教育を大切に！
施策	<p><u>1 夢を持ちたくましく生きる子が育つ環境づくり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢（小・中・高など）の子ども交流や活動 ・子どもから高齢者までコミュニケーションの取れるスポーツの推進 ・夢って何だ！と語り合える家庭と親子や仲間の付き合い ・深い学びにより子どもたちの夢がかなえられる（学校？） ・心豊かにお互い思いやりのある（人づくり・人権） ・たまり場づくり、語り合える（箱ものではなく） ・ネットリテラシー、危険なことを学ぶだけでなく子ども同士が話し合っ問題などを考えることも大切 ・豊かさ・余白を大切に⇒文化・スポーツが重要 ・子どもが寄り添える（心を許せるような）場所や人材 ・子どものIT化に対応する、学校や親の準備
	<p><u>2 社会教育を通じた地域の活力づくりの推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元に誇りがもてる、ほどよく田舎、中央公民館（誰でも集まれる） ・社会教育は年代を問わずに関われるので誰でも参加できることを大いに広めてほしい。老人力は大きな力かも ・誰もが利用しやすいスポーツ施設（バスケットゴール、フットサルコート、芝生広場） ・社会参加活動を教育の中でも進める必要がある ・コミュニケーション能力、人とのかかわり方を学ぶこと ・中央公園を活かしたランニング・ウォーキングの拠点（例：ランニングステーション） ・様々な年代の人が集い交流が出来る場づくり ・IT化の加速を活かす、デジタルテーマの話し合い

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭でもっと会話を。地域が守っていきけるはず ・意見交換が活発に出来る人間づくり、地域づくり、場づくり ・生涯にわたり学び合える（社会教育） ・多世代が集う文化イベントやサークル ・市の教育施設の利用を高めるための有効な宣伝が必要 ・いつでもどこでも誰もがいつまでも続けることの出来るスポーツの場所
	<p><u>3 郷土の歴史・文化を守り育てるまちを目指す</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元を愛せるようになれるのは何だろうか？何が必要なのか？ (子どもたちが帰れる地元) ・東御市の産業・文化、かかわるスキル、伝統を学び合い交流できる場づくり、地域の魅力の再認識 ・ふるさとを知り誇りを持てる人づくり ・守るだけでなく、情報発信を！ ・ふるさとや文化・歴史を教える教育がほしい ・中世の豪族である海野氏・祢津氏が開発したということを誇りに暮らしていくことが出来る郷土であってほしい ・五輪塔や石仏などがこれだけある地域はない、これを大事に出来るまちであってほしい

第2回総合計画策定市民会議 分野別専門委員会まとめ

分野	産業・経済分野
基本目標	<p><u>魅力と活力があふれるまち</u> <u>～暮らしを豊かにする産業が育ち、まちの魅力が高まり続ける～</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然のイメージ ・ 魅力と活力→市民の思いから行動がスムーズに動ける ・ 地域を盛り上げる産業が育つ ・ 大自然の魅力と住んでいる人の活力があふれるまち ・ 『人と自然が共生するまち』を持続するまち ・ 苗木から農産物まで←産業 ・ 農業機械化・自動化の先進地 ・ 産業（ヒト・モノ・カネ）の振興に地域固有の文化・歴史・自然を加え、持続可能な地域を創造する
施策	<p><u>1 地域の魅力を高める農業の振興</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 苗木生産を手掛ける企業と産地化を目指す施策を進める ・ 混在する生産物の集約化 ・ 農作業にともなうEV化（企業＋生産者） ・ 転作に伴う生産機械をセットにした生産者の手助け ・ 農作業の自動化率の高い地域にしたい（企業＋生産者） ・ 所得増大、設備投資に課題、資材等高騰 ・ ヒト、モノの交流の活性化 ・ 人材確保（新規就農者、定年帰農者）への支援 ・ 市外、県外からの男性、農業希望者の勧誘 ・ 優良農地の確保と荒廃農地の再生化 ・ 現在の水田を荒廃させない ・ 河川と水路の整備に力を注ぐ ・ 災害に強い山、森づくり ・ 豊かな森林と生物多様性の保持（住民参加型） ・ 伐採後また植林が増えていく ・ 林道、農道、市道、道路整備 ・ 農福連携による新しい価値づくり ・ 商工業分野からの農業参入の促進 <p><u>2 暮らしを豊かにする商工業の振興</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業誘致 ・ 市内企業の照会を市民向けに充実させる（採用を市民で拡散など） ・ 商業の活性（人が集まれるように）

- ・ 中心市街地の活性化
(空き店舗・空き家の活用、新規参入者とのマッチング)
- ・ 雇用の安定、市内企業が元気で地域にも貢献してほしい
- ・ 市内企業の社会見学増加 (小・中・高の学校教育と関連させて)
- ・ 道路の整備

3 まちの魅力を再発見する観光の振興

- ・ 観光関係 (商店が活性化していくといい)
- ・ 自然素材を利用したクラフト教室の充実
- ・ 滞在型の観光が出来るようになってほしい
- ・ 体験・宿泊の活性化
- ・ 海野宿の回遊性の向上
- ・ 湯の丸高原、ワイン、海野宿をアピールしていく
- ・ 御堂のブドウ畑とワインのアピールに力を入れる
- ・ 東御市独自の観光バスまたはタクシーの検討
(東御市の中心以外に観光・商業施設が点在するため)
- ・ プライスレスな価値をベースにしたブランドイメージづくり
- ・ 高トレ施設を活用した観光商品の開発

第2回総合計画策定市民会議 分野別専門委員会まとめ

分野	都市インフラ・防災分野
基本目標	<p><u>安全で安心して暮らせるまち</u> <u>～命や暮らしを守ると共に「住みやすさ」を高め続ける～</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化 ・人の心の潤い ・全ての世代が安全安心で暮らせるまち ～時代の流れにのったインフラ整備の促進～ ・すべてが優しいまち（人も地域も） ・安心（自動運転）、技術を活用 ・普通の生活ができるまち ・都市インフラが充実しているまち ・幸せが実感できるまち ・自然環境豊かなその中に都会（飲食・買物）の便利さがあり高地トレーニング施設を核とする、夏・冬スポーツセンターを世界に発信する ・タイトル「便利に暮らせる」またはサブタイトル「便利さ」を高め続ける ・災害に強いまち
施策	<p><u>1 都市インフラの維持・充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 情報インフラの充実、整備 ・防犯対策（交通手段の充実、高齢者・生徒・免許を持たないもの） ・上水道管・下水道が古くなり大変心配 ・自動運転が整備されている環境 ・橋、舗装の修繕が計画通りできている ・東西南北の幹線道路整備 ・車がなくても生活に困らない ・公共交通の充実、公共交通はこれからの社会生活に不可欠、生活のために自ら運転する高齢者、高齢者特有の交通事故発生、誰しも高齢となる、バス停があってもバスが通っていない、免許の返納が出来ない ・田中の街へ飲食に行くにも公共交通がないため移動の足が必要 ・商店街で飲食、田中商店街の向上 ・他の地域と比べ定期バス等路線の充実が必要。 ・高齢者が多くなりデマンドなど公共交通をしっかりとしてほしい ・公共交通の利用者が増えて利便性のよいまちになっている

2 災害に強い地域づくりの推進

- ・防犯の社会インフラ（防犯カメラ）の設置
- ・災害は少ない素晴らしい地域であるが防災へのきめ細かい教育、啓発
- ・軽井沢での行方不明者を町内で公共放送を聞いたことから解決
- ・防災情報等の情報システムの向上、昔は有線放送、今は情報の多様性、何重にも出来る広報
- ・電気、ガスが止まらない（災害時）
- ・想定できる災害に対して準備が来ている地域になってほしい
- ・災害などの「いざ」というときに隣近所で助け合える
- ・大雨でも水害が起きない
- ・災害はどこにでも起こることを考えておく
- ・防犯ラジオが全員に普及して災害時に機能する
- ・消防団が店員を満たし災害時に強いまち
- ・交流人口が増える施策

第2回総合計画策定市民会議 分野別専門委員会まとめ

分野	行財政運営分野
基本目標	<p><u>持続可能な選ばれるまち</u> <u>～暮らしの魅力が発信され、共感され、選ばれ続ける～</u> <u>～行財政運営が効果的かつ効率的に進化し続ける～</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・“分かりやすさ” 内にも外にも ・安心安全が維持・継続（災害怖くない） ・豊かな住環境を守る ・“めぐる” 循環の生まれるまち ・知ってもらいたい魅力のあるまち ・再発掘（今ある資源） ・隠れた魅力のある秘密のまち ・点を線にまちの財産を巡らせて循環のまち ・点を線にそして、面に→循環するまち
施策	<p><u>1 シティプロモーションの推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・知名度の向上 ・市の良いところを知ってもらう ・東信エリアの連携 ・交通の便をさらによくするため、SUICA をしなの鉄道でも使用できるようになる ・観光大使の協力 ・「映える」場所を知らせる ・ちゃんとあるものを利用、コンテンツをちゃんと考えて出す ・無料wifi スポット強化 ・地域資源の連携（ワイン×ジビエ、ビール×しゃも） <p><u>2 移住・定住の促進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を把握して不動産として表に。（空き家バンク掲載増加） ・空き家の掘り起こし ・魅力的なリフォームの実例紹介→魅力ってなに？ ・ふるさと納税制したくなるメニューを作る（話題性のある） <p><u>3 市民の信頼に応える行財政経営の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・期待されていることと進めていることの一致 ・働く（仕事）の種類が多様 ・紙、キャッシュレス化 ・マイナンバーカードで利用できる公共サービスの拡充 ・公共施設のWEB化 ・外からの収入に頼らずに市内流通してお互いに稼げる

